

文化財保護・活用 第68回 文化財防火デー



立看板の設置

文化財防火デーは、昭和24年に法隆寺金堂壁画が焼損したことから、文化財の防災と愛護意識を高めるために文化庁・消防庁の取り組みとして制定されました。火災が起きた1月26日を昭和30年に文化財防火デーと定めて以降、本市でもさまざまな取り組みを行っています。

本年はコロナ禍により消防演習や防火パレードは中止しましたが、市庁舎に懸垂幕を、各施設に立看板やポスターを設置しました。

また、筑紫野太宰府消防組合消防本部、太宰府消防署と合同で市内の文化財関係施設の予防査察をし、文化財防災意識を再確認しました。

本市には貴重な文化財・文化遺産が数多くあります。引きつづき皆さんの理解と協力をよろしくお願いいたします。



予防査察の様子

団体からの寄贈

ちくほうしょげいだいじん 竹峰書藝大院から書を寄贈いただきました

竹峰書藝大院（高雄区）の仮屋竹葉代表から、万葉集の歌で、空の美しさを歌った中大兄皇子の歌を揮毫した書を寄贈いただきました。市役所前のけやきの葉や苔をすき込んだ和紙が使用されています。

書は市役所3階市長室前の通路に飾りました。寄贈いただきありがとうございました。



寄贈いただいた書

団体からの寄贈 絵本を寄贈いただきました

1月14日（金）、油機エンジニアリング（株）の牧田隆代表から本市の小中学校、学童保育所へ、絵本『南の館の物語』50冊を寄贈いただきました。

太宰府市在住の前野りりえさん（作）、竹崎陽子さん（絵）が制作し、都から太宰府に移り住んだ菅原道真親子の家族愛に満ちた生活を、道真の娘・紅姫の視点から描いています。

推薦の帯書きを担当した楠田市長は「道真公の素晴らしい人間像がわかる物語を寄贈いただき市としてもありがたい。子どもたちにしっかり読んでもらいたい」と話しました。



寄贈式の様子

まちのトピックス

市民の活躍

JJAジュエリーデザインアワード受賞

昨年開催された「JJAジュエリーデザインアワード」でグランプリの内閣総理大臣賞を受賞した上久保泰志さんと、台東区長賞を受賞した高橋里奈さんが市役所を訪れ、楠田市長へ受賞の報告をしました。

2人は福岡市内の老舗宝石店にお勤めのジュエリーデザイナーで、いずれも本市出身・在住の逸材です。今回が初めての応募でありながら堂々のダブル受賞となりました。

井上晃一社長は、「コロナ禍で大きく打撃を受けているジュエリー業界ですが、今回の受賞がジュエリーに親しんでいただくきっかけになってほしいです」と話しました。



報告の様子



左：内閣総理大臣賞
「Twinkle～星影の記憶～」
右：台東区長賞「軌跡」

市民の活躍

全国道場少年剣道大会にて 団体戦優勝、個人3位！

1月に大阪で開催された全国道場少年剣道大会に出場し、見事団体戦優勝と個人戦3位となった、本市在住の小学6年生、木原愛由花さんが市役所を訪れ、楠田市長へ優勝の報告をしました。



報告の様子

木原さんの所属する福岡如水館は、小学生団体戦で2連覇を達成。団体戦では先鋒を務め、試合の流れをつくったそうです。優勝、おめでとうございます。